

今年度の活動計画について

1. 今年度の活動方針について（昨年度のおさらい）

- ・今年度の活動方針は、以下の 8 つのメニューで良いですか？
- ・この他にも、海部会で取り組んだ方がよい活動などがありますか？

活動テーマ：ごみ・流木問題 活動方針（案）

川と連携したごみ・流木調査の実施

今年度、海部会メンバーのみで実施したごみ・流木調査を流域圏全体で実施し、ごみ・流木の現状と問題意識を共有する。

海底ごみ調査の実施

ごみ・流木同様、海地域で問題となっている海底ごみの実態を、地元漁業者の協力を得て調査する。

ごみ・流木調査報告等による情報共有（上記の活動と合同開催も検討）

海部会（流域圏）でのごみ・流木調査結果の報告、一般廃棄物の発生源等の情報共有を目的として、一般市民やその他活動団体を対象とした調査報告を実施する。

また、昨年度から交流が始まっている奈佐の浜プロジェクトのメンバーとのごみ調査を通じた交流・情報共有を継続的に実施する。

活動テーマ：豊かな海の生物調査 活動方針（案）

鳥類から見る海の勉強会の開催

今年度は、干潟の生き物を中心とした調査を行ったが、来年度は、メンバーの専門性を活かして、鳥類の生態から豊かな海を考える勉強会を実施する。

海底の生きもの調査勉強会の開催

今年度は、三河湾内の DO 調査のみを実施したが、来年度は、貧酸素水塊が海底の生きものに与える影響についても勉強会を実施する。

活動テーマ：人と海との絆再生 活動方針（案）

子どもの干潟体験の実施

現在、海部会に所属する団体（矢水協）が主催している小学生の干潟体験イベントについて、海部会のノウハウなどを提供し、連携して開催する。

漁業関係者との交流

海と密接な関係にある地元漁業者と交流し、海と人との絆再生に向けた課題を抽出する。また、聞き書きを行い、海の生活を伝聞する。

活動テーマ：干潟・ヨシ原再生 活動方針（案）

干潟造成に向けた検討

今年度より要望が出ている干潟造成実験に向けた検討について、可能な範囲で、対象候補地や役割分担等の具体的な検討を進める。

2. 今年度の活動スケジュールについて

- ・今年度 7 回分の活動内容を検討しましょう（1～2 回は連携活動になる可能性あり）
- ・各テーマにおける具体的な成果イメージを共有しましょう（ex.活動を通じた海部会メンバーの増加）

活動方針

活動テーマ 1：ごみ・流木問題

川と連携したごみ・流木調査の実施

海底ごみ調査の実施

ごみ・流木調査報告等による情報共有（上記の活動と合同開催も検討）

今年度の成果イメージは？

活動テーマ 2：豊かな海の生物調査

鳥類から見る海の勉強会の開催

海底の生きもの調査勉強会の開催

今年度の成果イメージは？

活動テーマ 3：人と海との絆再生

子どもの干潟体験の実施

漁業関係者との交流

今年度の成果イメージは？

活動テーマ 4：干潟・ヨシ原再生

干潟造成に向けた検討

今年度の成果イメージは？

活動スケジュール

時期	内容	日程（予定）
6月		6月 日（ ）
7月		7月 日（ ）
8月		8月 日（ ）
9月		9月 日（ ）
10月		10月 日（ ）
11月		11月 日（ ）
12月		12月 日（ ）